

「考える力」を育むために

学習指導研修会の
授業提案から

置賜教育事務所では、今年度も「『考える力』を育む教科指導改善研究会」による教科指導の研究を進めて参りました。その提案の場として、小学校社会、小学校算数、中学校国語、中学校数学の計4回の「学習指導研修会」を実施しました。

研修会に参加された先生方の声をもとに、提案授業の成果をお知らせします。



小学校社会（10月16日）5学年 自動車をつくる工業 米沢市立西部小学校 授業者 徳重 馨 教諭

【本時の目標】・日本の自動車づくりのよさを予想し、そこから学習問題を考えることにつなげている。
・資料を読み取り、日本の自動車工業の様子についてとらえることができる。

《参加された先生方の声》

- 単元全体を通して「課題を見つけ見通しを持たせて解決していく」ことを意識した指導の大切さを学んだ。一単位時間を途切れさせることなくつなげていくことを大事にしていきたい。
- 導入部分で学習問題をどのように作っていくのか参考になった。自分事としてどうとらえさせるのか、資料提示の大切さも学んだ。



- 子どもの学習意欲を喚起するために、グラフやCMなどの資料の提示は有効だと感じた。自分も参観していてワクワクした。
- 思考ツール(クラゲチャート)の使用は有効だった。他者の考えとの共通点、相違点にも気づくことができ、考えが焦点化、視覚化できていた。
- 単元全体の学習問題のつくり方について、子どもの意見を吸い上げてつくっていく方法について勉強したいと思った。



中学校国語（10月27日）2学年 根拠を明確にして説得力のある意見文を書こう 高畠町立高畠中学校 授業者 吉川 和宏 教諭

【本時の目標】より説得力が生まれ、相手を納得させるような意見文にするために、相手の文に対して意見を述べたり、互いの文を読み返したりすることで説得力を高める工夫を理解することができる。

《参加された先生方の声》

- 意見を伝える対象（校長先生）と目的（体育祭の「組分け」についての改革）が明確で、「自分達の意見で変わるかもしれない」という思いが、書く意欲につながっていた。生徒の課題意識を教師が把握しているからこそその姿である。
- 説得力のある文章を書くために、付けるべき力を絞り込みその力をどのような手立てにより付けていくのかという、単元構成の仕方を学ぶことができた。
- 生徒が何度も何度も友達の文章を読み直す姿が印象的だった。読み返すための観点をしっかり持っていたためだと思った。
- 話し合う視点が提示されたことで、何をすればよいか分かり、スムーズに活動が行われていた。見通しの持てる授業の流れの提示が生徒にとって活動のしやすさにつながっていた。
- 生徒同士が「根拠の明確さ」についての的確な助言や指摘ができるような視点の焦点化、明確化が必要である。





小学校算数（11月14日）5学年 平均とその利用
白鷹町立蚕桑小学校 授業者 江口 和輝 教諭

【本時の目標】 合計（平均×個数）からわかっている数を引く考え方を使って、隠れた部分の数を求めることができる。

《参加された先生方の声》

- 体験に基づいた身近な題材（朝マラソンの周数）で、イメージしやすく、学習するよさを実感できるものであった。
- 逆思考を使った問題の難易度がちょうどよく、子どもが意欲的に問題に取り組んでいた。
- 発展的な問題を意欲的に考える子ども達の姿を見て、子どもに必要な力を教師が考え、問題を開発していくことが大事だと改めて感じた。挑戦することで課題も見えてくると思った。
- 友達の考えを別の子どもが説明する活動により学びが深まっていた。自分の考えがよりはっきりし自信につながったり、ホワイトボードを通して共感したりするよさも見られた。
- 子ども同士の言葉を「つなぐ」ことや、子ども同士もっと自由に話す時間を大切にしたい。また、子どもから大事な言葉が出された時は拾ったり問い返したりすることも必要である。



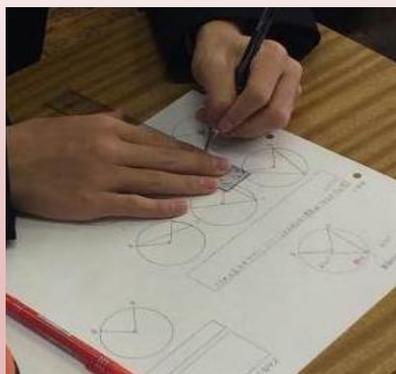
中学校数学（11月21日）3学年 円の性質
長井市立長井北中学校 授業者 横澤 俊彦 教諭



【本時の目標】 作図などの操作活動により、円周角の定理を予想し、定理が成り立つ理由を、半径と重なる場合について、根拠を示しながら印をつけて説明することができる。

《参加された先生方の声》

- 生徒が一生懸命考え伝えようとする姿がたくさん見られ、日々の学習の積み重ねが感じられた。発表後の拍手や友達の説明を熱心に聞く様子も学校全体の取組があつてのことだと思った。
- 交流を通して「何を考えるのか」「考えがこれでよいのか」について確認することができていた。さらに、考えを引き出したり深めたりすることにも有効だった。
- 分かっている生徒をうまく生かしていた。ヒントを言わせたり、ポイントのみを言わせたりし、その子に全部を言わせない工夫があつた。
- 最後の「振り返り」は、1時間の中での自分の変容や次時への意欲について改めて認識することができる場となっており大変よいと思った。
- 生徒の疑問や悩みを生かすのであれば、悩む時間を保障し、疑問や悩みを交流する場面を設けなければならないと思った。



4つの貴重な提案授業をもとに、参加者の先生方による活発な研究協議が行われました。その後、アドバイザーの先生方に授業に対するご助言もいただき、学びの多い大変充実した研修会となりました。

ご参加いただいた先生方、教科研究員の先生方、また会場を提供してくださった会場校の先生方に感謝申し上げます。

